

2023 年度学生生活実態調査

自由記述部分に関する回答について

学生生活実態調査の実施に際しては、学生の皆さんにご協力いただきまして、ありがとうございました。

この調査は、本学の学生生活の実態を把握することを目的とし、修学状況、課外活動状況やボランティア活動の実態、学生の福利厚生に関する基礎資料を作成し、経年的に比較することで、学生の教学面、生活面をサポートするための施策を迅速に立案・実施するために欠かせないものです。

調査の結果はホームページ上で公開していますが、その他に自由記述による意見、要望等も寄せられています。それらを関係の部局に回付しましたところ、皆さんへお伝えしたい内容を含む項目や改善、検討する項目について、コメントを得ましたので、お知らせします。

2024 年 6 月

関西大学 学生センター
所長 松村 吉信

* 回答にあたって、キャンパスに共通する内容は、「各キャンパス共通」として回答しています。

□ 各キャンパス共通

2 施設・環境について

○学舎の建替え要望、教室・課外活動施設・設備の利便性向上について

千里山キャンパスは、1922 年に大阪市内から移転し、100 年以上の歴史があります。

本学では、建物や設備の更新に関して関係者の皆様の意見に耳を傾け、さまざまな要望を取りまとめながら、必要な改修に取り組んでいます。関係者との協議の中で、優先順位や費用対効果を勘案しながら実施しているため、すべての案件に着手することは難しい状況ですが、今後も必要な施設・設備の更新を順次進めていきます。

○キャンパスの清掃、美化等について

各学舎における清潔感の違いについての要望がありました。

本学では複数のキャンパスにおいて全学的に統一した基準で清掃作業を実施しております。長い歴史のあるキャンパス全域を見渡すと、老朽化した建物が多い学舎や、建替えが進み比較的新しい学舎の多いエリアなどの差があります。そのため、老朽度合いが清掃結果の差として感じられることもあるかもしれません。

学生の皆さんも、ゴミが落ちていたら拾ってゴミ箱に捨てるなど、積極的にキャンパスの環境美化にご協力いただければ幸いです。

○キャンパスアメニティについて

本学は千里山キャンパスだけでなく、高槻や堺にも広大な敷地を有しており、この環境を維持するだけでなく、より充実したキャンパスライフを実現するための快適な環境づくりに取り組んでいます。

また、近年の学びのスタイルの変化に伴い、大教室以外の多目的な教室や憩いのスペースの必要性も高まってきました。これらの要望に対応するため、多様な学びのスタイルに適応した取組を行っています。

トイレの仕様に関する要望については、本学ではすべてのトイレにおいて定期的なメンテナンスや点検を実施しており、老朽化や改修が必要と判断された場所については適宜改修や修繕に取り組んでいます。

もし故障箇所を発見された場合は、最寄りの事務室までお知らせください。

○バリアフリー等について

千里山キャンパス内の建物には約 90 基のエレベーターを設置し、上下の動線の不便さを少しでも解消するよう努めています。しかし、中には老朽化が進んでいるエレベーターもありますので、年次計画に基づいて順次改修を進めていく予定です。

○冷暖房、空調の設定等について

冷暖房による暑さや寒さについての要望がありました。

本学では、大教室等があるエリアの建物には、冷暖房効率に優れた全館空調システムを採用しており、当日の天候や授業スケジュールに合わせて温度管理を行っています。

しかし、室温の感じ方には個人差がありますので、クールビズやウォームビズの観点から、各自での対応にご協力いただければ幸いです。

○OKU Wi-Fi の通信環境について

KU Wi-Fi は無線電波を利用した通信です。一般的に無線の電波は建物の形状をはじめ、壁の材質による反射や吸収、厚みや構造、その周辺の電波状況など、環境に大きく影響を受ける性質を持つため、必ずしも常時、同一の一定した電波が届くものではありません。

ですので、出来るだけ各教室内の天井（※）に設置されているアクセスポイント（白い箱に複数のアンテナが付いているので、まるでクモのように見える機器です）付近での利用をお奨めします。また、一度 Wi-Fi 機能の OFF・ON を実施することで、近くのアksesポイントを取り直すことにより、接続状況が改善されることがあります。

（※）KU Wi-Fi のアクセスポイントは、食堂などの一部の箇所を除き、教室の室内にのみ設置されています。

4 大学への通学（大学までのアクセスや駐輪場等）について

○駐輪場等について

千里山キャンパスの駐輪場に関する要望がありました。

千里山キャンパスでは、授業の合間に非常に多くの学生が学内の通路を行き交うため、歩行者と自転車の接触事故防止の観点から、キャンパス中央部に駐輪場を設けていません。そのため、各学舎から比較的遠い場所に駐輪場を配置しております。

また、千里山キャンパスは緑豊かな風致地区に指定されており、敷地内の建ぺい率（敷地内に建物を建てることが出来る広さ）が厳しく制限されています。このため、屋根付きの新たな構造物を建てるのが難しい状況であることをご理解ください。

5 喫煙等のマナー・モラルについて

○喫煙に関するマナー・モラルについて

今回の学生生活実態調査においては、キャンパス内の喫煙所やキャンパス周辺の路上における喫煙者のマナーについて、非常に多くの意見が寄せられました。3年以上に及んだコロナ禍を経て、学生諸君がキャンパスに戻ってきたことは誠に喜ばしい限りですが、同時に、喫煙に伴う諸問題が顕在化し、一層深刻化しているともいえます。

本学では、学園敷地内における受動喫煙の防止を恒常的・継続的に推進するために、2011年に「関西大学受動喫煙防止対策委員会」を設置し、キャンパス内全面禁煙を最終目標としながら様々な取

組を進めています。かつては、例えば千里山キャンパスにおいては10箇所以上の喫煙所がありましたが、国の改正健康増進法を受けた特定屋外喫煙場所の基準策定、さらに大阪府の受動喫煙防止条例が大学の敷地内全面禁煙を努力義務としたことなど、受動喫煙をめぐる社会情勢の変化をふまえ、現在、100周年記念会館横と中央体育館横の2箇所のみとなっています。

本学は教育機関の責務として、受動喫煙の防止措置を講じるとともに、喫煙マナーに関する啓発活動を粘り強く続けていきたいと考えます。愛煙家の学生諸君におかれては、煙草を吸わない学友の不快感、さらには地域住民の方々におかけしている迷惑にも思いをはせてほしいと思います。

○通学経路、周辺道路でのマナー・モラルについて

関大前通りを中心とした千里山キャンパス周辺における学生のマナー・モラルについても、複数の意見がありました。

本学には近隣住民の方々から、学生の皆さんのマナー・モラルに関する様々なご意見が日々寄せられています。道幅いっぱいに広がって歩くことは他の通行人や車両通行の妨げとなり、重大事故につながる恐れがあり非常に危険です。また、本学周辺は住宅街であり夜間に大声で騒いだり、周辺道路や私有地内に不法・迷惑駐車・駐輪・ゴミ等の不法投棄をする行為は、近隣住民の方々の静穏な環境の阻害となっています。

本学では、例年マナーアップキャンペーンを実施し、適宜インフォメーションシステムに

て、マナー・モラルの向上に関する注意喚起を行っています。今後も継続した取組を進めていきますが、学生の皆さん一人ひとりのご理解とご協力をお願いします。

6 就職支援について

○キャリアセンターにおける個別相談について

個別相談に関して主に2点の意見をいただいています。

一点目は、相談員毎に対応やアドバイスの内容に違いが生じていること。親身になって聞いてくれた、相談しやすかったという声がある一方で、思うような対応を受けられなかったために利用しなくなったという残念な意見もいただきました。キャリアセンターの相談員は全員が、資格と経験を持っており、学生一人ひとりの状況や相談内容に合わせて、適切な相談対応が出来るよう、随時、指導や研修を受けていますが、就職活動という学生の皆さんにとって初めてであるだけでなく非常に神経を使う活動において、十分に寄り添ってもらえていないと感じられる対応が発生することもあるようです。また、学生の皆さんを思うあまりの助言ではありますが、厳しく感じる表現や、皆さんの思いと異なる助言をされ、不安や不信感を与えてしまう結果になることがあったのかもしれません。

キャリアセンターとして状況を把握し、どのような時も皆さんが安心して相談に来ることが出来る窓口であるために、個別相談での対応について疑問や意見がある場合には、速やかにキャリアセンタースタッフに申し出てください。

二点目は、相談予約が取りにくいとの意見について、キャリアセンターでは就職活動・採用活動の状況を注視しながら、出来る限り、ニーズに沿った相談受付が出来るよう枠を調整しています。引き続き、皆さんが困ることがないように十分な相談枠の確保に努めます。

一方で、残念ながら、事前連絡なく予約時間に来ない学生がいます。就職活動や学習の予定が変更になり、予約した相談に影響が及ぶことはあるのですが、キャンセルの連絡がないままですとその枠が無駄になってしまいます。多くの学生が同時期に就職活動を行い、同じように困りごと、相談事を抱えていることを十分にご理解のうえ、個別相談の利用をお願いします。

○キャリアセンターの支援全般について

キャリアセンターが実施している各種サービス、セミナーや行事録面の視聴、各種行事の開催等いくつかの点において、学生の皆さんに十分に伝わっていないものがあることを理解しました。今後、周知方法について改善点がないか改めて点検します。皆さんは、「関西大学就職支援システム KICSS」やインフォメーションシステム「お知らせ」等を常にチェックして、キャリアセンターをフル活用してください。

また、行事や各種講座の多くは、KICSS 上でストリーミング配信しています。参加できなかった行事や再度内容を確認したい講座等がある場合には、いつでも視聴できるようになっていますので、是非、活用してみてください。

○様々な事情をかかえる学生への支援について

キャリアセンターでは、民間企業志望であれ公務員・教員の志望等であれ、多数の学生に

共通する事項や必ず知っておいてほしい内容を中心として行事・講座を実施しています。

1・2年次生、外国人留学生、最短修業年限を超えて在籍している学生、障がいを持った学生等、様々な状況におかれた皆さんを対象とした支援も多数実施しています。こうした各種情報は KICSS で発信していますが、キャリアセンターにそれぞれの担当者を配置して個別に支援できる体制もとっていますので、漠然とした不安や疑問であってもキャリアセンターの窓口にご相談してください。

8 奨学金制度について

○奨学金の手続きに関する情報提供について

奨学金手続きに関する情報が学生の皆さんに十分に届いていないとの意見がありました。前回の学生生活実態調査でも同様の意見があったこともあり、インフォメーションシステムの「お知らせ」や「個人伝言」を活用しての周知や、奨学支援グループ Web サイトに掲載する等、インターネットを活用してきました。

今後は、これまでよりも学生の皆さんに広く情報を提供できるよう、学内掲示板の利活用に加えて、説明会の開催や SNS・メールマガジンの活用など、更に効果的な周知方法について、継続して検討・運用していく予定です。

○給付奨学金制度の改善について

給付奨学金の制度に関して様々な意見・要望がありました。

2016 年度から運用されている給付奨学金制度については「2013 年度学生生活実態調査」において学生の皆さんの意見を反映して制度設計したものです。学部の給付奨学金については成績重視よりも経済支援を重視してほしいという結果に基づいて制度設計を行いました。2020 年度より「高等教育の修学支援新制度」が導入されるなど、奨学金事業を取り巻く環境は大きく変化してきています。

現行の制度についてもこのような状況を踏まえつつ、適宜見直しを行い、引き続き、学生の皆さんの意見を反映できるように検討していく予定です。

9 課外活動（施設含む）について

○課外活動支援について

課外活動に対する支援について様々な意見がありました。

学生の課外活動は、体育会、文化会、学術研究会、応援団及び放送研究会等の単独パート、ボランティア活動、ピア・サポート活動、各種サークル活動等多岐に渡ります。

活動に伴う経済的な負担を支援するため、大学への届出団体に対しては年間主要事業の実施や備品購入等に対して助成する振興費制度や各種助成費制度を設けています。

なお、届出団体のみならず広く課外活動を奨励し支援するものとして、文化・学術活動等奨励金制度を設けています。この制度は文化、学術、福祉、ボランティア活動等の分野において、優れた企画及び業績を有する学生や団体に対して奨励金を支給するものです。例年、企画部門は 5 月頃に、業績部門は 12 月頃に募集を行っています。また、スポーツ活動の分野においてはスポーツ振興奨学・奨励金制度を設けています。この制度はスポー

ツ活動で卓越した成果をあげ、かつ人物として優れた学生や団体に対して奨励金を支給するもので、例年４月頃に募集を行っています。是非ご応募いただき、本制度を活用してください。

その他に、課外活動に関する活発な情報発信や各種イベントの開催等に関する要望がありました。学生の皆さんが充実した学生生活を送ることができるよう、引き続き、課外活動支援策を講じていきます。

□ 千里山キャンパス

1 授業・カリキュラムについて

○授業・カリキュラムについて

時間割の配置、履修登録に関すること、授業の指導方法や進度・難易度等に関することなど、多岐にわたる意見がありました。また、コロナ禍を経て、通常時における遠隔授業を導入したことから、授業方法（対面・遠隔）に関する意見も多く寄せられ、対面授業におけるペアワークやグループワークによる学習、フィールドワークの実施等の要望が挙げられた一方、時間的な制約が少なく、繰り返し授業を視聴できる遠隔授業に対する期待の声もみられました。

本学では、学位授与にあたって、適切なカリキュラム構成がなされているかの質的検証を鋭意続けております。授業方法についても、各学部のカリキュラム構成と科目の特性に応じ、学部において遠隔授業とする科目を指定しています。今後、それぞれの授業方法の教育効果を検証し、多様なメディアを高度に活用した授業方法を、適切な形で活用したいと考えています。また、教育開発支援センターでは、教育方法の改善のためのFD等、教育の質的向上に向けたさまざまな取組を行っています。今回、学生の皆さんからの意見を各学部と共有し、検証・検討のうえ、着手すべき点について、可能な限り早期に対応できるようにいたします。

○欠席届について

授業を欠席した場合の取扱いについて、いくつか意見がありました。

本学には公欠という制度はありませんが、授業をやむを得ない理由で欠席した場合は、授業を欠席した日から10日以内であれば、「欠席届」を当該科目の授業担任者に提出することができます（要証明書）。授業担任者に提出する際は、自ら事情を詳細に説明し、欠席した授業を補完するよう努めてください。

欠席届の申請・発行方法、発行対象となる欠席理由、必要な証明書、発行窓口等の詳細は、インフォメーションシステムの「欠席届」に関するページに記載しています。

○関大ポータルアプリ・関大LMSの利用について

関大ポータルアプリの時間割表示の拡充について、意見をいただきました。これまでも検討を重ねて参りましたが、パッケージ製品を採用・利用していることから、すぐに改修することが難しい状況です。引き続き、改善に努めて参りますので、ご理解のほどお願いします。

関大LMSについて、スマートフォンアプリで利用する貴重なご意見ありがとうございます。現在のところ、関大LMS専用のアプリが提供される予定はありません。ブラウザでのご利用をお願いします。また、突然ログアウトする事象が発生することがあるとの意見については、関大LMSログイン後の画面に注意事項として記載しておりますが、同一ブラウザの別ウィンドウやタブを利用し、関大LMSの画面を同時に複数立ち上げて操作をした場合に、画面で操作したデータが不整合を起こすこともあり、自動的にログアウトすることがあります。

○学年暦について

カレンダー形式の学年暦につきましては、関西大学公式ホームページや学生生活支援グループ「かんだい LIFE」の Web サイトで公開しておりますので、そちらをご覧ください。

- ・ 関西大学公式ホームページ

<https://www.kansai-u.ac.jp/ja/about/outline/schedule.html>

- ・ 学生生活支援グループ「かんだい LIFE」

<https://www.kansai-u.ac.jp/gakusei/KandaiLife/category9/2023.html>

2 施設・環境について

○図書館の KU Wi-Fi 環境について

KU Wi-Fi 環境については IT センターとも相談のうえ、段階的に整備していきたいと考えています。総合図書館に備付けの有線 LAN 接続デスクトップパソコンについても、全学の BYOD の進捗状況及び適正な配置端末数に鑑みながら、耐用年数を超過したものから、順次リプレースを行っていくことで対応いたします。

○図書館の蔵書及び雑誌について

図書館における資料の収集に関しては、「関西大学図書館 資料収集方針」(https://opac.lib.kansai-u.ac.jp/?page_id=32671)に基づき、限りある予算の中で、授業科目にかかわる学習用資料や学生の人間形成並びに自主学習にかかわる資料、及び各研究者の研究分野・研究テーマにかかわる研究用資料などを優先して収集しています。一方で、同方針では、趣味的要素、娯楽的要素の強いものは図書館における収集対象外としています。

新書、小説については、収集対象から除外されるものではありませんが、その中でも当該方針にかなうものを優先して収集することとしています。限られた予算の中で、利用者の希望する新書、小説をすべて収集することは難しい状況です。しかしながら、収集方針と予算の許す限りで購入していますので、特定の資料の購入を希望する場合には、窓口及びオンラインサービスによる購入依頼を積極的に活用してください。また、2024 年度内にさらに簡便に図書館に購入希望を伝えられるリクエストフォームを導入する予定としておりますので、そちらも是非ご活用ください。

○図書館の蔵書検索について

貴重なご意見ありがとうございます。蔵書検索システム上の実現可能性を確認し、今後の図書館運営の参考にさせていただきます。一方で、分類番号をもとにした資料の配架は、公共図書館も含めほとんどの図書館で標準的な資料の配架方法として採用されています。そのため、分類番号を含む請求記号（背ラベルの番号）から、目的の資料を見つけ出すという方法は、今後の情報探索活動において決して無駄にはなりません。分かりにくい点は図書館のスタッフにお尋ねいただきながら、図書館を存分に活用してください。

○日曜、祝日の図書館開館時間の延長について

図書館における日曜、祝日の時刻別の入館者統計の実績は必ずしも多いとはいえません。できるだけ長い時間利用してもらえるよう、総合図書館では年間約 310 日間開館していますが、開館には光熱費等も含めコストも考慮しなければならない為、現時点では日曜、祝日は現在の開館時間を維持したいと考えています。

○図書館の書籍装備について

図書館での蔵書管理及び利用者の皆さんに簡便に蔵書にアクセスしていただくために、蔵書に資料 ID ラベルや請求記号ラベルを貼付し、さらにそれらが容易に剥落しないようにラベルキーパーの貼付等の措置を講じています。これを装備といいます。ブックカバーに当該ラベル等を貼付しますと、ブックカバーが破損、剥離した場合に、蔵書管理や利用者のアクセスに支障が生じることから、カバーを取り外し、蔵書本体に装備を行うことを基本としています。ブックカバーを残したまま、装備を適切に維持するには、カバー全体をラミネートで覆うなど、追加の装備が必要となります。利用者の皆さんの蔵書へのアクセスを保障する目的と、コスト面を勘案すると、カバーを取り外す方法を基本とすることが適切であると考えます。

○プリンターの設置場所について

「関大 My プリント」サービスについては、2023 年 9 月のシステム変更の際に設置場所を見直し、要望にお応えできるよう少しずつではありますが改善を進めています。第 1 学舎についてはオンデマンドプリンタ（1 台）を皆さんが利用できる場所へ設置しましたが、引き続き今後の利用状況を見ながら増設や設置場所等を検討していきます。

また、現在設置していない学舎や場所、利用時間についても検討は進めてまいります。大学全体で BYOD を加速する環境づくりや SDGs、ペーパーレスを促進する流れなどもあり、今後はプリンタの利用自体が減少するだろうと推測しているため、慎重に検討しています。

○関大 My プリントについて

旧システムでは、システムが停止してしまい関大 My プリントを利用できない時間が発生するなど、プリンタシステム自体に問題点が多く利用者の方にご迷惑をおかけしていました。

アプリによるスマホからの印刷では便利な部分もありましたが、このような理由を考慮し、システムを変更する運びとなりました。

システム変更により、ポイント消費が明確になったり、Office アプリから PDF に変換しなくても直接印刷できるようになったりと、改善点も多くあります。実は便利になっている点についてご理解いただき、引き続き、利用いただければと思います。

詳細は、関西大学 IT センターホームページをご確認ください。

<https://www.itc.kansai-u.ac.jp/services/ondemandprint.html>

また、利用方法などの不明点がありましたら、IT センターサポートデスクまでご連絡ください。

○プリンターの利用可能ポイントについて

利用者によって使用するポイント数に大きな差があるため、おおよその平均を考慮し無償提供しています。

本年度からは、半期に 1 度のリセットを廃止し、年間通してポイントを配分して使っていただけるようにしました。

ペーパーレスを意識しつつ、印刷しなくても閲覧できる環境も整えながら、工夫して大事に使っていただければと思います。

もし、無償提供されたポイントをすべて消費してしまった場合には、個人でポイントを購入することが可能です。(1 ポイント 10 円)

購入したポイントはリセットされることなく、在籍期間中は継続して使用可能です。

詳細は、関西大学 IT センターホームページをご確認ください。

<https://www.itc.kansai-u.ac.jp/services/ondemandprint.html>

○レンタルモバイルバッテリーについて

IT センターでは、2024 年 4 月からモバイルバッテリーの貸出サービスを開始しました。個人のノートパソコンを授業で使う際に充電が足りない場合、貸出用モバイルバッテリーを利用いただけます。

千里山キャンパスの場合は、IT センター1 階受付で貸出しています。

詳細は関西大学 IT センターホームページを確認してください。

<https://www.itc.kansai-u.ac.jp/services/battery.html>

3 食堂・コンビニについて

○食堂・コンビニのサービスについて

食堂・売店コンビニのサービス内容について、安価な価格設定やスタッフの対応が良いという好意的な意見があった一方、逆に価格設定が高いという意見や、関大生協で取扱いのあったミールカード復活の要望、テーブルを拭くためのアルコールシートの設置や食堂の適切な温度設定を要望する意見がありました。

商品価格については、市場価格よりも安価なメニューを揃えています。食材やその他経費の高騰もあり、価格改定を行うなど、商品価格に影響を及ぼしているのは事実です。

今後も、食堂・売店コンビニ事業者には可能な限り安価で美味しい商品を提供できるよう要望を続けていきます。

ミールカードについては、関大生協に確認したところ、代替措置を検討中である旨を確認しています。

衛生面での要望については、各食堂で異なりますが、ダスターやアルコール消毒液が設置されていますので、そちらをご利用ください。

100 円朝夕食に関しましては、校友会、教育後援会のご支援のもと実施しています。より

良いサービス提供に繋がっていきたいと思いますので、内容については引き続き検討していきます。

食堂の空調が年間を通じて寒いとの意見もありました。食品の腐敗を防ぐため室内温度設定は低めにしており、個別対応には限界があります。各自で体温調整できるようご協力をお願いします。

また、アレルギー表示や、利用方法の掲示及び座席配置について改善してほしいとの意見もありましたので、引き続き食堂事業者と検討を行います。

○食堂の混雑及び支払方法について

食堂の混雑状況について食器返却口の混雑や座席の譲り合いに関する意見がありました。また、混雑回避への対策として、店舗や座席の増設及びオンライン予約システム、キャッシュレス決済の導入要望がありました。

本学では、全学部が一斉に昼休みとなるため、一時的な食堂の混雑が避けられませんが、学生の皆さんの休憩時間を確保できるよう、混雑回避の方策については食堂事業者とともに継続して検討していきます。学生の皆さんも座席の利用方法についてご協力いただくとともに、店外で販売しているテイクアウト弁当のご利用も検討ください。

また、食器返却時の混雑については、現状、混雑回避のため、早めの返却をアナウンスしておりますが、さらなる混雑回避に向けて、食堂事業者と動線や案内方法の改善を検討しております。

店舗や座席の増設については、限られたリソースの中では限界がありますが、引き続き検討したいと思います。

券売機については、導入した際、混雑状況が悪化したことから廃止に至った店舗もあり、店舗の規模や利用状況に合わせた対応を行っています。

キャッシュレス決済については、関大生協のコンビニでは VISA カード決済に対応しており、第1学舎のコンビニでは PayPay の利用が可能です。また、第2学舎のファミリーマートは全てのキャッシュレス決済が可能です。

本学としても、学生の皆さんの利便性向上のため、キャッシュレス決済やモバイルオーダーについては、食堂事業者と DX 推進とともに協力をお願いする方針です。

○食堂・コンビニの商品展開の充実と営業時間について

食堂メニューについて、多彩なメニュー提供に対して好意的な意見があった一方で、より多彩なメニューや新メニューの提供、量の改善についての要望がありました。また、コンビニにおいては、品揃えの充実についての要望がありました。

各食堂では、利用者のニーズに合わせたメニュー提供を心がけ、日替わりメニューやマンスリーメニューで毎月新しい試みをしておりますが、皆さんの意見を受け、今後も栄養バランスや季節感を採り入れたメニュー提供を検討していただくよう食堂事業者に対し要望します。

コンビニの品揃えについては、販売を希望する商品があれば店舗スタッフへお伝えください。導入について検討していただくことができます。

また、営業時間延長の要望もありました。学生の皆さんの利便性を考えつつ、必要に応じて食堂事業者には営業時間の延長について交渉を行っていますが、採算面から利用者の多いコアタイムでの営業となってしまうことはご理解ください。

食堂・コンビニのサービス充実は、皆さんの利用により実現できるものと考えます。利用者の増加はサービスの充実につながりますので、ぜひ積極的に食堂・コンビニのご利用をお願いします。

また、店舗により営業日、営業時間が違いますので、関大生協ホームページや学生生活支援グループ「かんだい LIFE」の Web サイトで確認のうえご利用ください。

- ・関大生協ホームページ

<https://www.kandai.ne.jp/index.html>

- ・学生生活支援グループ「かんだい LIFE」

<https://www.kansai-u.ac.jp/gakusei/KandaiLife/category7/post-42.html>

4 大学への通学（大学までのアクセスや駐輪場等）について

○関大前駅や関大前通りの通行量について

関大前駅の混雑やホームの狭さが気になるとの意見がありました。

関大前駅の混雑解消については阪急電鉄に対してホーム拡幅の検討要望を行っており、その結果、2021 年 1 月に阪急電鉄千里線「関大前駅上りホーム」の拡幅工事が行われました。ホームの混雑は若干改善されたように思いますが、まだまだ混雑状況が解消されたわけではなく、引き続き注視していきますので、学生の皆さんも分散通学等のご協力をお願いします。

また、関大前駅から大学までの交通量が多く、危険に感じるとの意見がありました。

学生の皆さんが多く通行される登下校の時間帯に、関大前駅付近及び関大前通りに警備員を配置のうえ、警備及びマナー指導に努めておりますが、関大前通りについては歩行者の通行量に対して歩道が狭いという道路事情がある中で、安全・安心に通行いただくことは難しいことから、本学では 2016 年に阪急関大前駅北口の前にキャンパスへの新アクセス道として西門を整備しました。

学生の皆さんにおかれましては、安全・安心に登下校いただくために西門や南門からの積極的なアクセス利用について、ご理解ご協力をお願いします。

○キャンパス内外及び通学にかかる移動手段について

キャンパス間の移動手段の充実を求める意見がありました。

本学では、キャンパス間移動の利便性を図るために、2024 年 1 月 25 日からシェアサイクルのステーションを千里山キャンパスには 2 カ所（名神高速道路上（第 2 学舎裏）駐輪場エリア・8 号門（体育施設付近）入口）に設置しています。キャンパス間の移動のみならず、一般利用も可能ですので、是非ご活用ください。

また、学内において駐輪場から学舎までが遠いため、キャンパス内に自由に駐輪させてほしいという意見・要望がありました。

教育環境の維持・整備や事故防止、通行スペースの確保といったキャンパス内の安全環境

保持の点から、キャンパス入口付近に3カ所（第1学舎裏・第2学舎裏・東体育館裏）、駐輪場を設けていますので、そちらへの駐輪にご理解ご協力をお願いします。

通学について、自動車やバイクでの通学を希望する意見がありました。

本学では「教育環境を騒音等からまもる」「周辺地域住民の方々の生活環境をまもる」「通学途上の交通事故防止」等の理由により、自動車・バイク・原動機付自転車（電動キックボードを含む）通学を禁止しています。

また、教職員や警備員による迷惑駐車・駐輪巡回指導等により対策を講じ、違反者に対しては厳格に指導を行っています。

7 留学・国際交流について

○留学生との交流について

留学生との交流機会を増やしてほしいとの要望がいくつか届いています。

今後とも様々な交流機会を提供していきます。ここでは、本学の交流機会の提供に関する現状をお伝えしますので、ぜひご活用ください。

(1) 外国人留学生とともに学ぶ

① 本学は授業内で国際交流ができる環境が充実しています。共通教養科目の中に、「グローバル科目群」を設置し、英語で海外の学生とともに学べる授業を展開しています。特に COIL（Collaborative Online International Learning）という授業は本学の特色となっています。ICT ツールを用いて海外の学生と連携し、さまざまな分野のプロジェクトに取り組む教育実践の方法です。英語をはじめ、外国語で意思疎通する機会とともに、異文化理解や異文化間コミュニケーションスキル、学生中心の課題解決型学習（PBL）により、メディア・リテラシーやチームワーク・スキル等さまざまなスキルを身につけることができます。

また、千里山以外のキャンパスの学生がグローバル科目群を履修しやすくするため、各キャンパスに Global Smart Classroom（GSC）を設置しました。大型ディスプレイ、集音マイク、カメラなどを備え、授業を行っているキャンパスから離れていても、まるで教室にいるような感覚で授業を受けることができます。2023年度は春学期・秋学期各6科目ずつ提供しているので、特に千里山キャンパス以外の学生でグローバル科目群を履修したい方は、秋学期の履修変更の際にチェックしてみてください。

② 千里山キャンパスの第2学舎1号館2階に Mi-Room という国際交流のためのスペースを設けています。その中で実施しているセッションやイベント、その他アクティビティには多くの留学生が参加しています。「Mi-Room は1人では入りづらい」というご意見もいただきましたが、Mi-Room は絶えずバージョンアップを続けていて、国際交流に慣れていない学生が留学生と交流ができるように学生スタッフが声をかけたり、グローバルな視点を身に着けるための本を置いたり、自動販売機を設置してまずはコーヒーを飲みに来るだけでも OK としたり、いろいろな工夫をしています。ぜひ少しだけ勇気を振り絞って、Mi-Room に入ってみてください。

また、2022年度から「Virtual Mi-Room」という仮想空間における学生交流スペース

を新たに設置しました。こちらはキャンパスに来なくても国際交流ができる場所で、パソコン等を使ってアクセスすることが可能です。本学の交換留学生として来日を検討している海外の学生や、本学への留学を終えて帰国した学生なども訪れ、Mi-Room とはまた一味違う交流が可能となっています。Mi-Room と同様に、こちらでもイベント等を随時開催しています。特に Mi-Room のある第 2 学舎以外の学生や、高槻・高槻ミューズ・堺キャンパスの学生に積極的に活用いただきたいスペースです。

インフォメーションシステムの「お知らせ」を始め、X (旧 Twitter)・Instagram・Facebook 等の SNS で Mi-Room および Virtual Mi-Room に関する情報を公開しています。イベント等の実施状況や参加方法がわかりにくい等、些細なことでもお気軽に国際部にご相談ください。

(2) 外国人留学生を支援する

① Global Buddy Program (略称：GBP) では、関西大学の学生が交換受入留学生 Buddy (仲間・相棒) として、交換受入留学生の来日前から繋がり日本留学への不安を取り除くとともに、日本での生活への順応や友人づくり等をサポートし留学の充実を目指します。

Buddy となる皆さんにとっても、国際的な交流活動を通して多様性を理解するなど貴重な経験をすることができます。年 2 回 (7 月頃、1 月頃)、参加者を募集しますので、ぜひ応募してください。

② 国際部の業務補助を担う国際部学生スタッフ DIASS (Division of International Affairs Student Staff) では、海外協定校の担当教員・学生等来訪時のキャンパス案内、外国人留学生対象の各種イベント・説明会や来日時のオリエンテーションの運営補助、通訳補助及び動画編集を経験することができます。ぜひ応募してください。

③ 留学生と国内学生の「架け橋」となるべく国際交流ボランティア活動をしているピア・コミュニティとして「KU ブリッジ」があります。国際交流イベントの企画・運営を行い、留学生が充実した大学生活を送れるようサポートすることを目的として活動していますので、参加してください。

④ その他に「日本語チューター・チューティー制度」があります。留学生が学習及び研究等の成果を上げ、関西大学において充実した生活を送るために、関西大学の学生が留学生のチューターとなり、日本語の学習や日常生活における助言・協力を行います。年 2 回 (4 月頃、9 月頃)、日本語チューターを募集しますので、ぜひ応募してください。

⑤ 南千里国際プラザにある留学生別科では、留学生たちが関西大学を始めとする日本国内の大学・大学院への進学を目指して日本語や日本文化等を学んでいます。別科での授業では、日本語会話の練習相手になってもらえる「日本語授業ボランティア」を募集しています。留学生の日本語学習を支援しながら、日本語で留学生と交流できる機会が

すので積極的に参加してみてください。

(3) 外国人留学生とともに暮らす

5つの国際学生寮では、留学生とともに生活し、日本語と外国語を駆使して多様な価値観やコミュニケーション能力を日常的に育むことができます。寮生たちの日常生活をサポートする「レジデント・アシスタント」(RA)制度があり、RAは寮生同士の交流を深めるため、様々なアクティビティの企画や実施を行っています。RAとして活動することにより、留学生を含めたより多くの寮生と交流し、絆を深めることができます。

国際部が実施するイベントのほとんどが、参加者に語学力等の条件を求めています。実際に英会話は得意でない学生の皆さんもたくさん参加しており、異文化理解や外国語運用力向上のきっかけとなっています。まずは気軽に国際部へお越しください。

○留学制度について

国際部所管の留学プログラムは多岐にわたります。中長期留学（1～2学期間）では、海外大学で専門科目を学べる交換派遣留学と、語学学習を中心としつつも、行き先によりボランティア活動やインターンシップ等の実践的な活動にも取り組める認定留学の2つがあります。短期留学では語学学習を中心とした語学セミナー、語学学習とフィールドワークに取り組む海外体験型研修（SDGsを学ぶ）、協定大学等で語学学習と文化体験に取り組むSummer/Springプログラム、国際協力ボランティア実習等、海外で様々なことに挑戦できるプログラムが整っています。また、現地に渡航することなくオンラインで海外の学生とともに学べるプログラムもあります。なお、認定留学と多くの短期プログラムでは、出願時のGPA要件や語学要件が不要です。留学に対してハードルを高く感じている方も、まずは誰でも参加が可能なプログラムから挑戦してみてください。ぜひ自分に合う留学プログラムを探してみてください。

国際部で実施している短期・中長期プログラムはほとんどの場合に帰国後、関西大学での単位認定対象となっています（ただし、参加プログラムの認定単位数や、卒業所要単位に参入される単位数は各学部・研究科により取扱いが異なる）。

また、国際部には「学生留学アドバイザーSAPA」と呼ばれる、留学経験者で構成された学生スタッフがいます。SAPAは、留学生活や語学学習に関する留学相談・イベントの実施のほか、Instagramやブログ等のSNSを通じて、現地での生活に関するお役立ち情報の発信等、様々な方法で自身の留学経験を活かした情報を発信し、これから留学する関大生をサポートしています。留学経験者の話を聞くことで、留学前の疑問や不安の解消につながると思います。

留学制度や出願準備に際し、不明点や個別に相談したいこと等があれば国際部の留学相談にお越しください。留学カウンセラーや各プログラム担当者、SAPAが丁寧に対応します。また留学相談やイベント情報は、インフォメーションシステムおよび国際部ホームページ「GLOBAL NAVI」をぜひご確認ください。

○留学にかかる奨学金・経済支援について

国際部では、留学プログラム参加者を対象とした奨学金・経済支援を充実させています。プログラムによって対象となる奨学金・経済支援の種類は異なりますが、給付型奨学金の支給や、留学中の関西大学の授業料免除など、どのプログラムにも何かしらの経済支援があります。また、全員が対象になるわけではありませんが、学内の制度だけでなく、学外の企業・団体からご支援いただける奨学金制度もいくつかあり、大学に案内があり次第、学内で募集しています。国際部所管のプログラムだけでなく、各学部・研究科が実施する短期プログラムや DD プログラムなどが対象となる奨学金制度もありますので、詳細は各学部・研究科のオフィスにお問い合わせください。

また、国際部では、留学にかかる奨学金・経済支援に関する情報をまとめた「留学奨学金ガイドブック」を発行しています。このガイドブックでは、応募要件や支給金額、対象のプログラムなどについて詳しい情報を掲載しており、そのすべてが返済不要の給付型奨学金となっています。

冊子版は国際部オフィス前のマガジンラック、データ版は GLOBAL NAVI サイトのお知らせに掲載していますので、ぜひ一度ご覧いただき、参加を検討しているプログラムが対象となる奨学金情報や、受給可能となった場合のおおよその金額などを確認し、留学計画を立てる上での材料にいただければと思います。

9 課外活動（施設含む）について

○課外活動施設について

部室等の課外活動施設を増やしてほしいといった多くの要望がありました。課外活動施設の狭隘化については、早急に解決すべき課題の一つであると捉えていますが、中長期的な予算計画を立案すべき事項もありますので、関係部局との調整を図りつつ、鋭意検討していきます。また、体育施設を含め、各課外活動施設・設備の充実や拡充についても改善要望がありました。緊急性の高いものから順次整備を進めておりますことをご理解ください。

課外活動施設利用に関する改善要望について、大学届出団体は各種手続きを行うことで課外活動施設を使用することができます。予約・利用方法については、所管窓口が発行しているマネージャー必携又は学生生活支援グループ、スポーツ振興グループのホームページをご確認ください。

なお、施設開室時間については、安全面及び防犯上の観点から、日・祝日ははじめとした大学休業期間中は使用できない場合がありますのでご注意ください。

大学届出団体のみならず、広く学生の皆さんに開放している施設として、凜風館 1 階の学生ラウンジがあります。学生相互の交流の場として活用してください。加えて、中央体育館 1 階トレーニングルームの利用に関しては、利用講習会を受講いただくことで、自由にご利用いただけます。利用時間は、1 限から 3 限が正課体育で中央体育館を使用するため 3 限終了後から利用可能というルールのもと、利用者の安全面を考慮したうえで、可能な限り学生の皆さんに利用いただけるよう運営しています。インフォメーションシステムにて、利用講習会の日程を掲載していますのでご確認ください。

○ボランティア活動に関する情報について

ボランティアセンターが主催するイベントについては、ボランティアセンターホームページで「年間予定イベント一覧」を公開しており、募集中のボランティア情報についても同サイトで案内しています。

https://www.kansai-u.ac.jp/volunteer/outline/action/2024/05/post_313.html

また、ボランティア活動に関する情報は、以下のとおり、各種SNS等において随時情報を発信しています。

なお、下記掲示場所において、ボランティア募集のポスターを掲示しています。

凜風館1階のボランティア活動支援グループでも詳しく説明を行いますので、気軽にお立ち寄りください。

高槻・高槻ミューズ・堺キャンパスに所属する学生は、オンラインボランティア相談をご活用ください。

各種SNS等

◇関西大学ボランティアセンターホームページ

【URL】 <https://www.kansai-u.ac.jp/volunteer/index.html>

◇公式LINE

【URL】 <https://page.line.me/bus4049v?openQrModal=true>

◇Instagram

【URL】 <https://www.instagram.com/kansaiuniv.volunteercenter/>

ポスター掲示場所

【千里山キャンパス】

正門前、新関大会館南棟前、凜風館1階

【高槻キャンパス】

A棟（管理研究棟）1階 高槻オフィス前

【高槻ミューズキャンパス】

西館1階ブックセンター前

【堺キャンパス】

堺キャンパス事務室前

□ 高槻キャンパス

1 授業・カリキュラムについて

授業形態や千里山キャンパスでの履修等について、意見がありました。

総合情報学部では、学部の特色である文理総合型というコンセプトを活かしつつ、学生に自らの専門性をより強く意識させた学修ができるカリキュラムを提供しています。教養教育の導入科目、共通教養科目、外国語科目をはじめ、専門教育としては、基礎科目、基幹科目、展開科目を配置しています。また、理論的知識だけでなく実践的な情報活用能力を身に付けるべく、多様な実習科目を段階的に配置しています。さらに、少人数で専門教育を行う演習科目（3年次の専門演習と4年次の卒業研究）を必修として最終的に卒業論文（作品）としてまとめることとなります。

これら科目の中で、教育効果、カリキュラム・ポリシーを踏まえ、一部で遠隔授業を実施しています。今後も、科目特性に応じて、遠隔授業で実施可能か、それぞれの授業方法における教育効果等について検証を行い、より適切な授業方法を検討していく予定です。

なお、本学部では、高槻キャンパスで実施されている授業で卒業所要単位を修得することが可能ですが、千里山で開講されている共通教養科目の一部では遠隔授業になっているものもありますので、シラバス等を確認し自分の興味にあった科目を履修してください。

また、演習科目の履修申し込みに際しては、ゼミ選択の参考となるよう2022年度から合同オフィスアワーを実施していますので、参加するようにしてください。

学部としては、2024年4月にアセスメントプランを公表し、教育の質保証の実質化に向けて、継続して取り組んでいきます。

2 施設・環境について

シャトルバスの試験運行やキッチンカーの導入、F棟2階リサーチコモンズの設置、学部届出団体であるMCSによる撮影やVersearによるシステム構築等の学内アルバイトの拡充等の取組を開始し鋭意努力しています。今後も施設・環境の利便性を向上するよう知恵を絞って各種努力を継続していきますので、具体的な意見・要望等があれば、お気軽に高槻キャンパスオフィス、C棟1階、3階の学生サービスステーションでお聞かせください。

3 食堂・コンビニについて

食堂およびコンビニについて各種の意見がありました。現在は利用者の多い昼休み時間（コアタイム）を中心とした営業となっており、時間延長を含めて様々な案件を事業者と交渉をしていますが、コアタイム以外の利用者数がコロナ禍以前の状態に達していない状況です。この間、物価高により材料費が高騰しておりますが、できるだけ学生の皆さんが利用しやすいメニューを提供するように、企業努力をいただいています。授業期間外など大学休業期間中の収益減の問題も未だ解消されていません。しかし、利用が増えると営業時間延長やメニューの改善等も検討可能となります。皆さんの積極的な利用をお願いします。

4 大学への通学（大学までのアクセスや駐輪場等）について

市営バスの利用については、日頃から乗車マナーの向上や分散乗車にご協力いただきありがとうございます。

市営バスの運行については、2024 年問題による運転手不足等の影響から、減便や直行便の廃止を余儀なくされていますが、高槻キャンパスオフィスといたしましても、通学環境の改善を図るべく、高槻市交通部と連携し、鋭意協議を行っています。

また、2024年1月から、直行シャトルバスの試験運行も始めており、引き続き通学環境の改善に取り組んでいきます。

5 喫煙等のマナー・モラルについて

ご指摘のあったバス停の喫煙所については、高槻市営バスとの協議の上、撤去することとなりました。喫煙マナーが守られないと、喫煙場所を縮小せざるを得なくなる可能性があります。喫煙者と非喫煙者の双方にとって心地よい分煙環境を築いていくため、学生の皆さんには喫煙マナーを守っていただきますようお願いいたします。

また、屋内の喫煙所設置の要望がありましたが、健康増進法の改正により2019年7月1日から大学は敷地内で全面禁煙となっていますが、「屋外で受動喫煙を防止するために必要な措置がとられた場所に、喫煙場所（特定屋外喫煙場所）を設置することができる。」とされていることから、屋内については法的に設置が不可能であると考えています。

9 課外活動（施設含む）について

体育施設の利用方法について、大学行事・正課体育を最優先とし、正課体育終了後の時間を体育会活動、併設校のクラブ活動、その他の活動という優先順で調整しており、使用手続き及び注意事項は大学要覧（HANDBOOK）に記載しています。利用を希望される場合は、高槻キャンパスオフィスにお問い合わせください。

ご指摘のあった施設利用方法の明確化につきましては、課外活動の際の教室施設使用願や物品借用願の申請は電子化しており、ご自身のスマートフォン等のデバイスから手続きが可能です。C棟の各教室は授業がない時間帯はオープン利用が可能となっていますので、高槻キャンパスオフィスにお問い合わせください。

また、課外活動への助成についても、学生の皆さんからの要望を踏まえながら、既存制度の見直しや新規制度の立ち上げ等を検討いたします。コロナ禍により課外活動が縮小しておりましたが、今後はコロナ禍前以上の状態に盛り上げていきたいと考えていますので、積極的に高槻キャンパスオフィスにご相談ください。

□ 高槻ミューズキャンパス

1 授業・カリキュラムについて

オンデマンド科目を増やしてほしいとの意見がありました。関西大学では 2023 年度から全授業回を対面で実施する「対面授業」を原則としていますが、社会安全学部ではオンデマンド配信科目として授業を実施することが教育の質の向上につながる専門教育科目 9 科目（2024 年度）についてオンデマンド配信科目に指定しています。このように教育の質保証の観点から、どのような授業科目でもオンデマンド配信科目にできるわけではないことをご理解ください。

また、履修したい授業が重なっており、開講時間の分散を検討してほしいとの意見がありました。授業時間割は、配当年次や科目群等を考慮して 4 年間で履修できるように編成していますので、4 年間で計画的に履修するようにお願いいたします。履修できなかった科目は翌年度に履修することをご検討ください。

2 施設・環境について

OKU Wi-Fi の通信環境について

大教室において、授業中に大学システムにアクセスできないことや、パソコンの充電場所について質問がありました。ミューズキャンパスでは、学生の皆さんに安定したインターネット環境を提供できるよう取り組んでいます。一点に密集してアクセスが集中すると、KU Wi-fi が繋がりにくくなる場合があります。

特に、スマートフォンとパソコンの双方で接続されることで、アクセスが集中する事案が多発していますので、授業中は使用するデバイスのみで接続するようご協力をお願いします。なお、授業で使用する教材や資料等は、事前にダウンロードが可能な場合は、前日までにダウンロードしておくことをお勧めします。

また、パソコンやスマートフォンの充電について、本学では、貸出用のモバイルバッテリーを準備しています。社会安全学部の皆さんは、高槻ミューズキャンパス 4 階の IT ステーションまで申し出てください。

3 食堂・コンビニについて

食堂やコンビニの営業時間の延長、座席数、メニューの充実や価格設定に関する意見がありました。事業者とより充実したサービスを提供するよう定期的にミーティングを実施しています。なお、食堂事業者からは、日替りや週替りメニューに加えてイベントメニューなどの展開を検討する旨確認していることを申し添えます。

また、食堂の軽食メニューやスイーツメニューについても事業者とのミーティングにおいて申し入れていきますが、すでにコンビニで軽食やスイーツを各種取り揃えていますので、コンビニも積極的にご利用ください。

物価高による材料費の高騰の中でも、できるだけ学生の皆さんが利用しやすいメニューを提供できるよう引き続き検討いただきます。高槻ミューズキャンパスの食堂及びコンビニの充実、皆さんの利用により実現するものと考えます。学生アンケートも行うなどして

サービスや環境改善について事業者申し入れていきますので、今後も目安箱に意見・要望をいただければ幸いです。意見・要望の実現のためにも積極的な食堂・コンビニの利用をお願いします。

また、食堂の座席数について、どうしてもお昼休みの時間帯に利用者が集中してしまいます。利用者が集中する時間においては、座席の譲り合いについてご協力をお願いします。

5 喫煙等のマナー・モラルについて

喫煙マナー等についての意見をいただきました。

高槻ミューズキャンパスでは、喫煙ルールとマナーを守るよう啓発活動を行っておりま
す。喫煙所以外の場所でたばこを吸っている本学学生を見かけた場合は、すみやかにミューズ
オフィスまでご連絡をお願いします。

7 留学・国際交流について

社会安全学部特有の留学プログラムを作ってほしいとの意見がありました。社会安全学部独自の留学プログラムはありませんが、全学部の学生さんが利用可能な語学セミナー等の短期留学、認定留学や交換派遣留学といった中・長期留学プログラムがありますので、ご自身の目的に合わせてぜひ活用ください。

また、約半年間の留学であった場合に修得できる単位数が少ないと感じるとの意見がありました。関西大学では、学生さんが留学中に修得した単位を所属学部のカリキュラムに照らし、授業内容、授業時間数等を勘案して単位認定を行っていますが、専門教育科目については、所属学部のカリキュラムに相当する授業科目を留学中に修得することが難しい場合があります。この点所属学部のカリキュラムを確認することが重要になりますので、事前に所属学部窓口までご相談ください。

○留学制度について

国際部所管の留学プログラムは多岐にわたります。中長期留学（1～2 学期間）では、海外大学で専門科目を学べる交換派遣留学、語学学習を中心としつつも、行き先によりボランティア活動やインターンシップ等の実践的な活動にも取り組める認定留学の 2 つがあります。短期留学では語学学習を中心とした語学セミナー、語学学習とフィールドワークに取り組む海外体験型研修（SDGs を学ぶ）、協定大学等で語学学習と文化体験に取り組む Summer/Spring プログラム、国際協力ボランティア実習等、海外で様々なことに挑戦できるプログラムが整っています。また、現地に渡航することなくオンラインで海外の学生とともに学べるプログラムもあります。なお、認定留学と多くの短期プログラムでは、出願時の GPA 要件や語学要件が不要です。留学に対してハードルを高く感じている方も、まずは誰でも参加が可能なプログラムから挑戦してみてはいかがでしょうか。ぜひ自分に合う留学プログラムを探してみてください。

国際部で実施している短期・中長期プログラムはほとんどの場合に帰国後、関西大学での単位認定対象となっています（ただし、参加プログラムの認定単位数や、卒業所要単位に参入される単位数は各学部・研究科によって取扱いが異なる）。

留学制度や出願準備に際し、不明点や個別に相談したいこと等があれば国際部の留学相談にお越しください。留学カウンセラーや各プログラム担当者が丁寧に対応します。

また、2024 年度から社会安全学部生の皆さんを対象に留学や国際交流を身近に感じてもらえるよう高槻ミューズキャンパスにて月に 1～2 回程度、国際部のスタッフが留学相談対応や学内の国際交流に関する情報提供等行う取組を行っています。今後もこの取組を定期的に開催し、留学生との交流イベント等も実施予定です。日程や開催場所等の詳細はインフォメーションシステムおよび国際部ホームページ「GLOBAL NAVI」をご確認のうえぜひお気軽にお越しください。

9 課外活動（施設含む）について

サークルの数が少ないとの意見がありました。現在、高槻ミューズキャンパスで活動する団体が 7 団体あります。防災教育、ボランティア、防犯・防災訓練、野球、防災ドローン、環境保全・イベント運営の団体がそれぞれ活発に活動していますので、参加についてご検討ください。

また、コロナ禍で活動が低迷していたことから、ミューズキャンパスとしても課外活動団体の活発的な活動を応援しています。2023 年度から社会安全学部公認の課外活動団体制度を導入し、学部生の課外活動を支援していますので、興味のある人は、ミューズオフィスまでお問い合わせください。

なお、社会安全学部の学生さんが千里山キャンパスのクラブ・サークル活動に参加することも可能ですので、あわせてご検討ください。

10 その他

千里山キャンパスまでの通学定期の購入に関する意見がありました。

通学定期は、普段勉学を行う学校の最寄駅と居住地の最寄駅の間に限り、同じ区間の通勤定期券の金額と比べて特別に安く設定されているものですのでその点ご理解ください。

なお、千里山キャンパスでの対面型授業日が週 3 日以上である場合に限り、千里山キャンパスへの通学定期券の購入申請が学期毎に可能です。申請期間等に関しては、インフォメーションシステムのお知らせにて周知しておりますので、そちらをご確認ください。

□ 堺キャンパス

3 食堂・コンビニについて

食堂メニューの充実や質・価格に関する意見がありました。また、営業時間の延長やキャッシュレス決済の導入の要望もありました。

食堂が提供するサービスの向上に向けて、食堂業者への営業努力を求めるのみならず、新たな「食」の提供サービス形態の検討など、食堂業者とも協議を行いつつ、堺キャンパスの重要なキャンパスアメニティの一つとして、改善を進めていきたいと考えています。

また、キャッシュレス決済の導入やその他利便性向上のための施策の検討はすでに始めており、引き続き実現に向けて対応を進めたいと思います。

4 大学への通学（大学までのアクセスや駐輪場等）について

関大前駅までの通学定期券を購入できるようにしてほしいとの要望があります。

通学定期券の発行は各電鉄会社のサービスの一環となっており、これまでの電鉄会社と協議の結果、週3回以上授業のために千里山キャンパスへ通学する際には通学定期券の発行が認められています。

なお、電鉄会社の取り決めにより、課外活動による通学定期券の発行はできません。

また、堺キャンパスと千里山キャンパス間のシャトルバス運行も行っていますので、課外活動等で千里山キャンパスと堺キャンパスを往来する場合は、ぜひ活用してください。

7 留学・国際交流について

○留学生との交流について

「堺キャンパスにおいても国際交流を行いたい」との意見がありました。今後とも様々な交流機会を提供していきます。ここでは、堺キャンパスにおける国際交流機会の提供に関する現状をお伝えしますので、ぜひご活用ください。

(1) 外国人留学生とともに学ぶ

① 堺キャンパスの学生がグローバル科目群を履修しやすくするため、各キャンパスに Global Smart Classroom (GSC) を設置しました。大型ディスプレイ、集音マイク、カメラなどを備え、授業を行っているキャンパスから離れていても、まるで教室にいるような感覚で授業を受けることができます。2024 年度は春学期・秋学期各 6 科目ずつ提供しているので、堺キャンパスにしながらグローバル科目群を履修したい方は、秋学期の履修変更の際にチェックしてみてください。

② 千里山キャンパスの第2学舎1号館2階に Mi-Room という国際交流のためのスペースを設けていますが、2022 年度から「Virtual Mi-Room」という仮想空間における学生交流スペースを新たに設置しました。こちらはキャンパスに来なくても国際交流ができる場所で、パソコン等を使ってアクセスすることが可能です。本学の交換留学生として来日を検討している海外の学生や、本学への留学を終えて帰国した学生なども訪れ、

Mi-Room とはまた一味違う交流が可能となっています。Mi-Room と同様に、こちらでもイベント等を随時開催しています。特に堺キャンパスの学生に積極的に活用いただきたいスペースです。

インフォメーションシステムの「お知らせ」を始め、X (旧 Twitter)・Instagram・Facebook 等の SNS で Mi-Room および Virtual Mi-Room に関する情報を公開しています。イベント等の実施状況や参加方法がわかりにくい等、些細なことでもお気軽に国際部にご相談ください。

(2) 堺キャンパスで開催するイベント

2024 年度から「出張国際部 in 堺キャンパス」として、月に 2 回程度 9～17 時の間、国際部のスタッフが堺キャンパスに出張し、留学相談対応や学内でできる国際交流に関する情報提供など、人間健康学部生に留学や国際交流を身近に感じてもらえるよう、新たな取組を始めました。今後も出張国際部を定期的に開催し、留学相談はもちろん、留学生との交流イベントなども実施予定です。出張国際部の日程や開催場所など、詳細はインフォメーションシステムおよび国際部ホームページ「GLOBAL NAVI」のお知らせで案内しますので、ご確認のうえぜひお気軽にお越しください。

(3) 外国人留学生を支援する

主に千里山キャンパスでの活動ではありますが、堺キャンパスの学生の皆さんも参加可能なプログラム等は以下のとおりです。ぜひ利用してください。

① Global Buddy Program (略称：GBP) では、関西大学の学生が交換受入留学生の Buddy (仲間・相棒) として、交換受入留学生の来日前から繋がり日本留学への不安を取り除くとともに、日本での生活への順応や友人づくり等をサポートし留学の充実を目指します。Buddy となる皆さんにとっても、国際的な交流活動を通して多様性を理解するなど貴重な経験をすることができます。年 2 回 (7 月頃、1 月頃)、参加者を募集します。

② 国際部の業務補助を担う国際部学生スタッフ DIASS (Division of International Affairs Student Staff) では、海外協定校の担当教員・学生等来訪時のキャンパス案内、外国人留学生対象の各種イベント・説明会や来日時のオリエンテーションの運営補助、通訳補助及び動画編集を経験することができます。

③ 留学生と国内学生の「架け橋」となるべく国際交流ボランティア活動をしているピア・コミュニティとして「KU ブリッジ」があります。国際交流イベントを企画・運営を行い、留学生が充実した大学生活を送れるようサポートすることを目的として活動しています。

④ その他に「日本語チューター・チューティー制度」があります。留学生が学習及び研究等の成果を上げ、関西大学において充実した生活を送るために、関西大学の学生が

留学生のチューターとなり、日本語の学習や日常生活における助言・協力を行います。
年2回（4月頃、9月頃）、日本語チューターを募集します。